

平成26年度 第2回栃木県公共事業評価委員会

日時：平成26年9月8日(月)14:00～

場所：栃木県庁本館6階 大会議室2

次 第

1 開 会

《議 題》

2 栃木県県土整備部所管事業の再評価について

(審議案件) . . .【資料1】

(1) 河川事業

ア 一級河川姿川 (県事業) . . .【資料2-1】

(2) 街路事業

ア 宇都宮都市計画道路3・3・1号 鹿沼宇都宮線 (県事業) . . .【資料3-1】

イ 宇都宮都市計画道路3・4・202号 古峯原宮通り外1路線 (県事業) . . .【資料3-2】

3 閉 会

再評価を実施する栃木県県土整備部所管事業の一覧表(審議案件)

No	事業区分	事業主体	路河川名等	箇所名	総事業費 (億円)	事業予定期間	再評価 分類 注1)
1	河川	栃木県	一級河川姿川	宇都宮市 城山	31	H12~H35	工
2	街路	栃木県	宇都宮都市計画道路 3・3・1号 鹿沼宇都宮線	宇都宮市 下栗町	49	H17~H29	イ
3	街路	栃木県	宇都宮都市計画道路 3・4・202号 古峯原宮通り外1路線	鹿沼市 千渡	43	H19~H29	イ

注1) 再評価分類 ア=事業採択後一定期間を経過した時点で未着工の事業 イ=事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業
ウ=準備・計画段階で一定期間が経過している事業 エ=再評価実施後一定期間が経過している事業
オ=社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
※詳細については、栃木県公共事業評価実施要領 第5-1を参照。

河川事業の再評価概要書

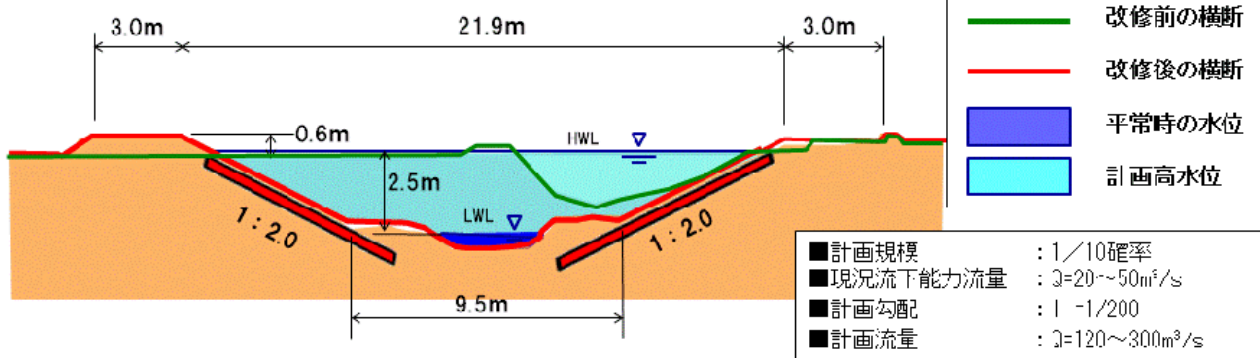
河川事業の再評価概要書			番 号	1															
			事業主体	栃 木 県															
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課															
路線・河川名	一級河川 <small>すがたがわ</small> 姿川		事業箇所名	宇都宮市 <small>しるやま</small> 城山															
事業区間	<small>うつのみやし</small> 宇都宮市 <small>しもあらはりまち</small> 下荒針町地先 <small>おおやまち</small> ~大谷町地先	事業延長	4,000m																
平成12年度事業化		平成12年度用地着手		平成12年度工事着手															
事業期間	H12年度~H35年度		事業進捗状況	基準年次：【平成26年度末時点】															
(うち用地補償費)	(11億円)			進捗率															
全体事業費	30.6億円			(うち用地補償費) (8.1億円) (74%) 既投資事業費 24.6億円 80%															
事業概要																			
<p>姿川は、宇都宮市北部の古賀志山地<small>こがし</small>の鞍掛山<small>くらかけ</small>にその源を発し、宇都宮市西部を流下した後、小山市半田地先で思川に合流する河川である。</p> <p>計画区間は流下能力が不足していることから、豪雨時には家屋、農地などに浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河積の拡大を図り、氾濫を防止し被害の軽減を図る。</p>																			
事業を巡る社会経済情勢等の変化																			
流域内において、大きな土地利用の変化はなし。																			
事業の投資効果																			
<p>① 費用対効果分析結果</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td></td> <td>【総便益 (B)】</td> <td>【総費用 (C)】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1) 事業全体</td> <td>B/C = 2.5</td> <td>97.6億円</td> <td>39.4億円</td> <td>[L=4,000m区間]</td> </tr> <tr> <td>2) 残事業</td> <td>B/C = 3.8</td> <td>19.9億円</td> <td>5.3億円</td> <td>[L=1,125m区間]</td> </tr> </table> <p>② 事業の整備効果等</p> <p>整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。</p>							【総便益 (B)】	【総費用 (C)】		1) 事業全体	B/C = 2.5	97.6億円	39.4億円	[L=4,000m区間]	2) 残事業	B/C = 3.8	19.9億円	5.3億円	[L=1,125m区間]
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】																
1) 事業全体	B/C = 2.5	97.6億円	39.4億円	[L=4,000m区間]															
2) 残事業	B/C = 3.8	19.9億円	5.3億円	[L=1,125m区間]															
事業の進捗状況等																			
<p>① 事業の進捗状況</p> <p>県営圃場整備事業（姿川地区）と事業調整を図りながら、下流より整備を進め、平成26年度末時点における進捗率は約80%の予定である。</p> <p>② 今後の事業進捗の見込み</p> <p>残りの区間については、計画的な整備が図れる見込みである。</p>																			
コスト縮減等																			
<p>① コスト縮減方策</p> <p>整備の際発生する残土については、圃場整備事業等近接工事への残土流用を活用し、工事費の縮減を図っている。</p> <p>② 代替案立案等の可能性</p> <p>計画区間の下流については、思川合流点までの改修が完了していることから、遊水地等による代替案よりも、河川の拡幅を行う現計画が妥当である。</p>																			
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。																	

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図



街路事業の再評価概要書

番 号

2

事業主体

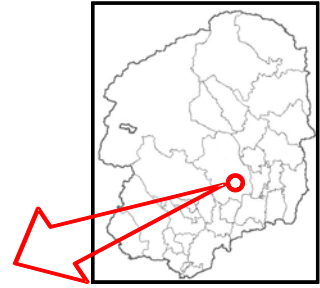
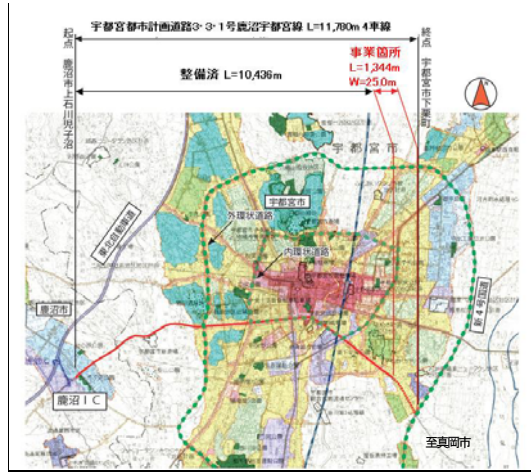
栃 木 県

()は当初計画時

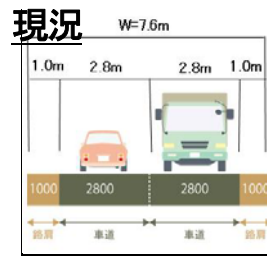
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課	
路線・河川名	宇都宮都市計画道路 3・3・1号 鹿沼宇都宮線 (主要地方道 宇都宮真岡線)		事業箇所名	宇都宮市 下栗町	
事業区間	宇都宮市下栗町		事業延長	1,344m	
S7都市計画決定 (S46、H20年度変更)	H17年度 事業化		H17年度 用地着手	H20年度 工事着手	
事業期間	(H26) H17年度～H29年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成26年度末時点】		
[うち用地補償費] 全体事業費	[33.8(32.0)億円] 49.3(42.0)億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[33.7億円] 47.5億円	進捗率 [99%] 96%
事業概要					
<p>宇都宮都市計画道路3・3・1号鹿沼宇都宮線は、東北自動車道鹿沼インターと新4号国道（宇都宮環状道路）を結び、宇都宮市街地の都市活動を支える重要な幹線道路であり、鹿沼市、宇都宮市、真岡市の連携を図る上でも重要な路線である。</p> <p>事業箇所は、朝夕を中心に交通量が非常に多いにもかかわらず、車線が2車線のみであり、各交差点に右折車線がないため渋滞が発生しており、主要渋滞箇所に指定されている。また、横川東小学校の通学路に指定され、かつ中高一貫の宇都宮東高校の自転車での通学経路となっているにもかかわらず、歩道等が未整備であることから、自動車と通学児童・自転車等が錯綜して非常に危険な状況となっており、事故危険箇所に指定されている。</p> <p>これらの課題に対応するため、バイパス及び現道拡幅による車道の4車線化と歩道等の設置を行うことにより、交通混雑の緩和及び自転車歩行者の安全で快適な通行空間の確保による良好な都市空間の創出を図ると共に、災害時の緊急輸送路の確保による都市防災機能の向上を図るものである。</p>					
事業を巡る社会経済情勢等の変化					
特になし					
事業の投資効果					
1 費用対効果分析結果		【総便益(B)】		【総費用(C)】	
(1)事業全体 B/C = 2.8		154.8億円		55.0億円	
(2)残事業 B/C = 61.6		154.8億円		2.5億円	
2 事業の整備効果等					
・都市間の連携強化		・現道における渋滞緩和			
・歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保		・救急救命活動や都市防災機能の強化			
事業の進捗状況等					
1 事業の進捗状況					
・現道拡幅部分 (L=444m) の大部分で自転車歩行者道が整備され、歩行者自転車の安全性が改善された。					
・バイパス部分 (L=900m) の用地取得が完了したため、バイパス工事を鋭意推進中である。					
2 今後の事業進捗の見込み					
・今後も残る用地取得を推進して順次工事を進め、平成29年度を目標に事業完了を図る。					
コスト削減等					
1 コスト削減方策					
・路盤材、アスファルト合材に再生材を活用し、コストを削減。					
2 代替案立案等の可能性					
・既にほとんどの用地を取得して工事を進めているところであり、都市の骨格を形成する「放射道路」として都市計画の諸手続きを経て整備しているため、現計画が最適である。					
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。			

事業箇所 (位置図・概要図)

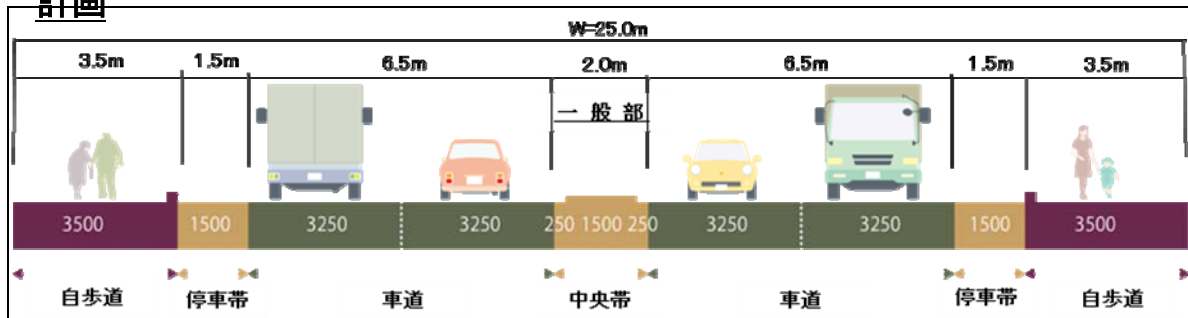
位置図



標準横断図



計画



概要図



- 主要渋滞箇所
- 事故危険箇所
- ◀ 写真位置

① 現道の状況 ミツトヨ前付近



② 現道の状況 恵光寺前付近



③ 現道拡幅部 工事前



④ 現道拡幅部 工事後(暫定)



街路事業の再評価概要書

()は当初計画時

		番 号	3
		事業主体	栃 木 県
事業名	街路づくり事業		事業所管課 県土整備部 都市整備課
路線・河川名	宇都宮都市計画道路 3・4・202号 古峯原宮通り外1路線 (主要地方道宇都宮鹿沼線)	事業箇所名	鹿沼市 千渡
事業区間	鹿沼市上野町～千渡	事業延長	3・4・202号 古峯原宮通り 1,734m 3・4・203号 鹿沼環状線 226m
S40 都市計画決定 (S46、H12、H24 年度変更)	H19 年度 事業化	H19 年度 用地着手	H22 年度 工事着手
事業期間	(H26) H19 年度～H29 年度	事業進捗状況	基準年次：【平成26年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[33.5(28.2)億円]	[うち用地補償費]	[32.4億円] [97%]
全体事業費	43.0(35.0)億円	既投資事業費	38.9億円 90%
事業概要			
<p>宇都宮都市計画道路3・4・202号古峯原宮通りは、鹿沼市上日向交差点から宇都宮市境に至る鹿沼市中心部を東西に横断する延長約8.0kmの幹線道路であり、「鹿沼市都市計画マスタープラン」において東西の広域連携軸を構成する広域連絡道路として位置づけられている。</p> <p>現道である主要地方道宇都宮鹿沼線は、鹿沼市と宇都宮市の中心部を直結し、地域間の物流や通勤等の日常生活を支える幹線道路であり、第三次緊急輸送道路にも指定されている。また、事業箇所に並行する区間は、多くの商業施設が隣立し、自動車交通をはじめ、路線バスも多く、通学路に指定されているなど、鹿沼市の生活を支える重要な役割を担っている。</p> <p>しかし、交通量が多いことから、慢性的な交通渋滞が発生し、朝夕の通勤通学時間帯は自動車、自転車・歩行者が錯綜するという非常に危険な状況にある。</p> <p>このため、鹿沼市と宇都宮市との道路ネットワークを強化し、両市の連携強化と交流促進を図るとともに、鹿沼市内の安全・安心で円滑な交通を確保するため、バイパス整備を行うものである。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の変化等			
特になし			
事業の投資効果			
1 費用対効果分析結果		【総便益(B)】	【総費用(C)】
(1)事業全体 B/C = 1.4		64.9億円	46.6億円
(2)残事業 B/C = 12.2		64.9億円	5.3億円
2 事業の整備効果等			
<ul style="list-style-type: none"> 都市間(鹿沼市～宇都宮市)の連携強化 歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保 		<ul style="list-style-type: none"> 現道における渋滞緩和 救急救命活動や都市防災機能の強化 	
事業の進捗状況等			
1 事業の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> 現在、本事業区間の用地取得及び工事を推進中。 本事業区間の東側については、道路事業により平成26年度事業化。 			
2 今後の事業進捗の見込み			
<ul style="list-style-type: none"> 今後も用地取得を推進し、工事に必要な一連区間の用地が確保できたところから順次工事を進め、平成29年度を目標に事業完了を図る。 			
コスト縮減等			
1 コスト縮減方策			
<ul style="list-style-type: none"> 鹿沼市雨水幹線事業と連携することにより、道路排水の流末処理に係るコストを縮減 			
2 代替案立案等の可能性			
<ul style="list-style-type: none"> バイパス事業で既に約9割の用地を取得していること、鹿沼市の都市の骨格を形成する東西の「広域連絡道路」として、都市計画の諸手続きを経て整備していることから、現計画は最適である。 			
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。	

事業箇所 (位置図・概要図)

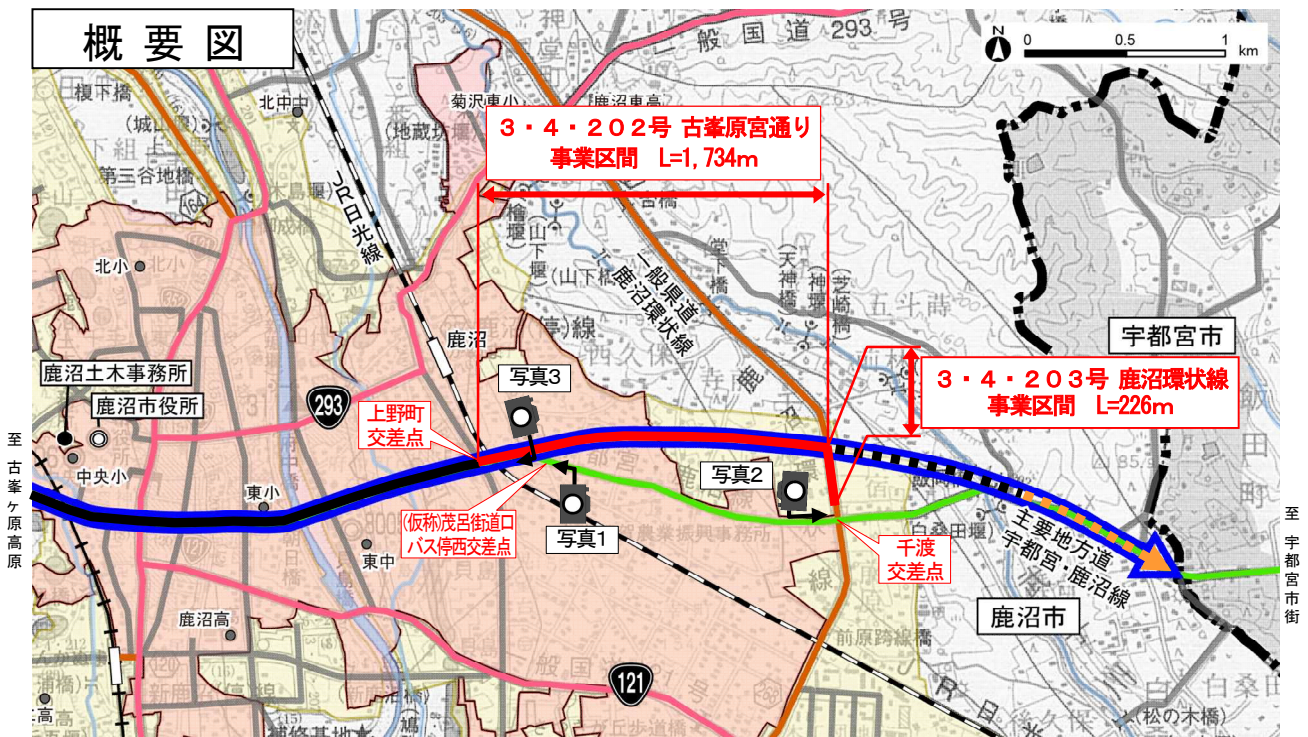
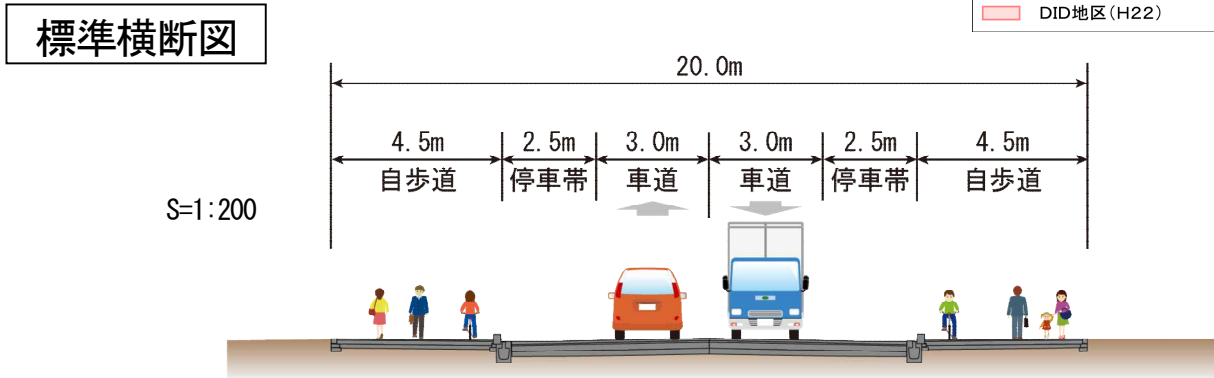
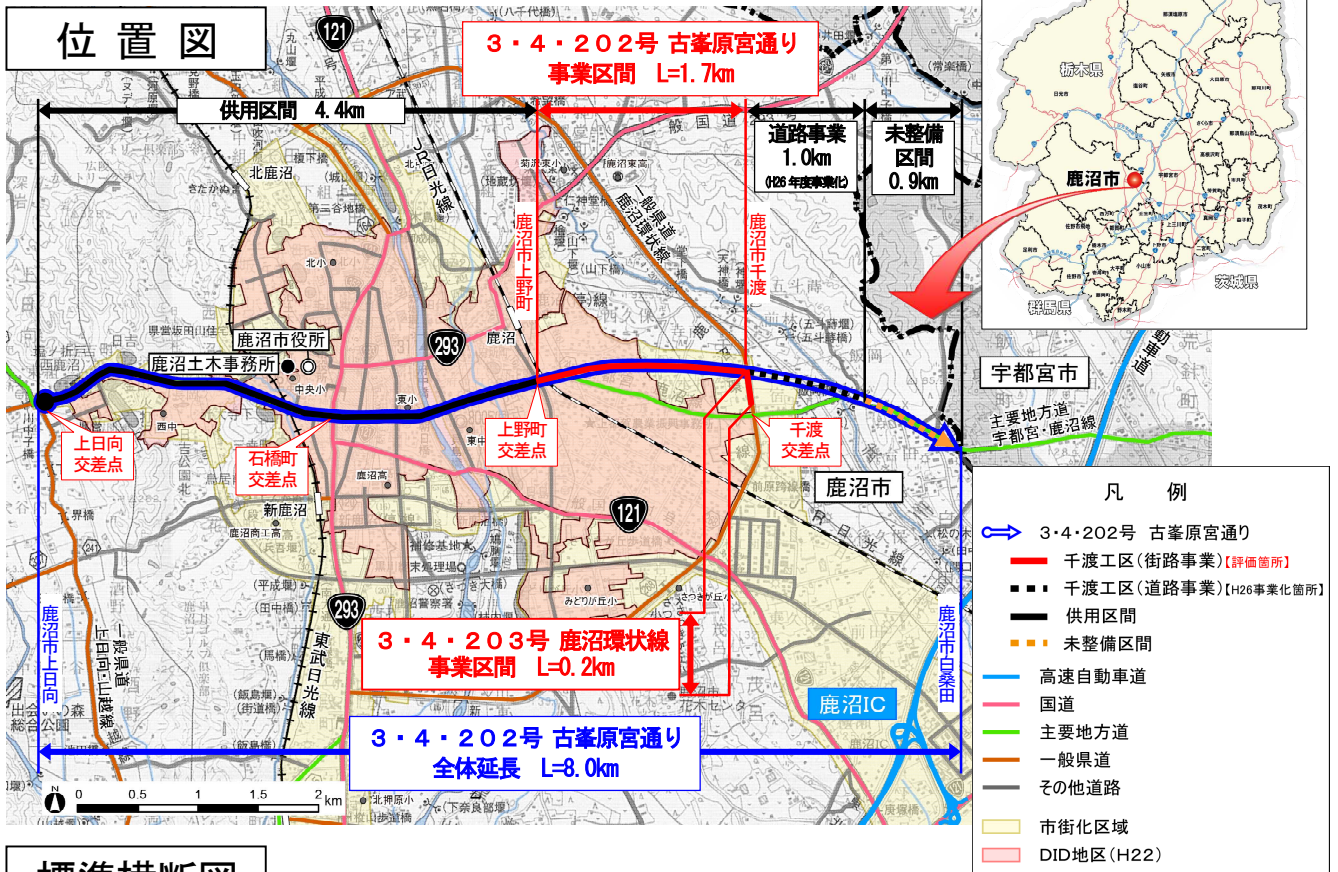




写真1：現道渋滞状況（(仮称)茂呂街道口バス停西交差点：西進方向）



写真2：現道渋滞状況（千渡交差点：東進方向）



写真3：通勤通学時間帯の交通状況（東町1バス停付近：西進方向）